



あいはら

2024. 11. 29

町田市立相原小学校

校長 百田 明弘

学校便り NO. 8



「残したいもの」

校長 百田 明弘

日に日に寒さが増してきました。例年より遅かったですが学校から見える富士山も白くなり、美しい姿を見せてくれています。

さて、11月9日に町田市長をはじめ多くの方々をお迎えして、開校150周年記念式典・祝賀会を行うことができました。秋晴れの空の下、校庭では元気に全員合唱を響かせることができました。6年生は式典の中で立派に「相原小のよいところ」の発表、「ふるさと」「夕焼け小焼け」の合唱、「八木節」の合奏を披露してくれました。

祝賀会では地域に根付く「丸山獅子舞」や若い力として法政大学吹奏楽サークルのお祝いもありました。これまで準備・お手伝いを頂いた地域、保護者の皆様のご協力に感謝するとともに、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

今、「はにわ展」で話題の東京国立博物館で一昨年「150年後の国宝展」が開かれていました。現代を生きるわたしたちが、もうだれも生きていないかもしれない150年後。そのとき、国宝には、どんなモノがあるのでしょうか。東京国立博物館創立150周年を記念し、150年後に伝え残していきたい国宝候補を、その背景のストーリーと共に展示する展示イベントでした。企業部門では「ゴジラ」「たまごっち」「ハローキティ」「ガンダム」「初音ミク」「コンビニ」「スーパーカブ」といったものでした。また、一人一人が大切にしてきた宝物も募集していました。個人から寄せられたものは「祖母から誕生日にもらったしおり」「思い出のキーホルダー」「歯科技工士を目指して毎日彫刻した歯の模型」など応募者のエピソードとともに展示されたそうです。選考基準は「150年後にも残したいモノ、残さないといけないモノ」ということでした。

本校では、今月、開校100周年の時に作られたタイムカプセルに子供たちが「20年後の相原小学校の小学生へ」というメッセージを込めて封緘します。「20年後に残したいモノ、残さないといけないモノ」を今の小学生はどう考えたのか、未来の小学生にどんな言葉を伝えようとしたのか、それをまだ生まれていない20年後の小学生がどんな気持ちで読むのか、想像するとワクワクします。

20年後というと文部科学省は科学技術の進歩としてAIの進化や高度な作業をするロボット、自動運転などを予想しています。また、企業や大学の研究では20年後になくなる職業として「運転士・運転手」「事務員」「警備員」「スーパー・コンビニ店員」などが、残る仕事として「医師・看護師」「弁護士・裁判官」「スポーツ選手・芸術家」「教員・保育士」などが挙げられています。きっと新しい職業も生まれていることでしょう。「なくなる可能性がある職業」や「AIに取って代わられない職業の特徴」から、今後の将来を担う子供たちが今から身に付ける必要がある力がわかってきます。

・創造力 ・問題解決能力 ・コミュニケーション力

AIは創造的な作業が苦手です。小学校では各教科の授業を通して、本や友達の言葉をもとに「自分の言葉」で何かを伝えたり、作り出したりしていけるようにしています。またAIは人の気持ちを汲み取ることが苦手です。相手のことを考えたり、察したりすることも、道徳の時間や行事を通しての仲間との取り組み、集団での遊びを通して学んでいます。

今年度の開校150周年のテーマ「かがやく未来へ！つなげ相っ子！」のように、子供たち一人一人の未来が輝くように、良き伝統をつないでいけるように、これからも教育活動に取り組んでまいります。本校へのご理解・ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。

2024年度 町田市立相原小学校 学校評価

学校評価 2024

今年度も本校の教育活動にご理解ご協力いただきありがとうございました。保護者の皆様のご意見を次年度の教育活動に生かしてまいりますので、学校評価のアンケートにご協力ください。**締め切りは12月13日(金)です。**
https://docs.google.com/forms/d/1N3nq2Vcvmc-rZRw_aOnfxEwZRNNPEv5SVvjYg8OMwU



